

事業活動報告

事業所名 第三かめおか作業所

<p>1. 2018年度 事業所方針</p> <p>*step by step ～1つひとつをつないで、次への挑戦へ～</p> <p>・第三かめおか作業所では「強みを活かした事業を拓げる」こと「生きづらさを抱えるメンバーの個性を大切にする」ことを柱とし、一人ひとりが働くなかで手応えや喜びがつかめるよう、取り組んでいます。年々多様化するメンバーの実態に沿った作業内容や環境を整えること、そのことを大切にできる職員集団をめざして、これまでの一步をさらに拓げ挑戦します。</p>
<p>2. 利用者・職員状況</p> <p>・利用者：定員40名 現員40名（男性25、女性15）</p> <p>※今年度4月、かめ作から2名、地域から1名、離職3名の受け入れ、8月他界1名 6月一般就労1名（介護保険事業所で就職・4日/週）がスタートしています。</p> <p>・職員13名 正規4名 非正規9名（所長1名 主任2名 支援員10名 厨房職員2名）</p> <p>・作業 和洋菓子グループ… シフォンケーキ、もち焼きあられ等の製造・販売</p> <p>・地域就労グループ… スーパーやマンション、公共施設の清掃、草刈り、ワックスがけ</p>
<p>3. 2018年度の実践内容について</p> <p>・今年度前半は外勤職員が充足しない状況が続きました。また前半はご家族との関係や疾病などが起因し、毎日の暮らしが成り立たなくなる事例が立て続けにおこり、やり練りが精一杯な日々が続きました。</p> <p>・一方、今年度の各グループの収入は昨年実績にくらべほとんどの月で上回り、新たな仕事や販路が広がっています。内勤では新たに「かめまるマート」「セブンイレブン西つつじヶ丘店」「Y00（京都市内雑貨店）」での委託販売、外勤では「南丹広域振興局」「たなばたの郷新館」での清掃が始まっています。今年度賞与は前期（10月支給）5～6万、後期（4月支給）は7～8万を支給することができ、力を合わせ取り組んできたことが、それぞれの達成感や手応えとして実感できたことと思います。</p> <p>・後半に、ようやく内外勤とも職員態勢がととのい、方針に沿った具体的な取り組みも検討・実行できるようになっています。内勤では朝夕の会を一新、朝は HACCP を意識し、検温や体調のチェック項目を盛り込み、夕は互いに「今日一日がんばった・よかったと思うこと」をグループで記録し報告しあうようにしました。外勤では請負先に協力いただき、直行直帰の形を変更、一人ひとりのメンバーが自分の仕事、グループ全体の仕事を把握できるよう、朝夕の会を実施しています。また新たに請負先の方をお招きし、私たちへの要望等をお聞かせいただく取り組みもはじめました。</p> <p>・特に気になるメンバーには、毎日を安心して心穏やかに過ごせるよう、個別の様々な取り組みをおこなっています。Tさんはこれまでずいぶん早く帰宅していましたが、本人との面談をへて3時まで仕事に励むことを一緒に決め、実行しています。Hさんはこれまでなかなか家から一歩出ることが難しかったのですが、先日から職員と一緒に納品等に出ることができるようになりました。それぞれが考えていることや率直な思いを出せるように丁寧に積み重ね、少しずつ形になってきています。</p>

4. 2019年度への課題について

- ・一人ひとりの地域で働く気持ちを太らせる、事業をさらに拡大するために、今必要なことは販路や請負先を広げることでなく、各グループの現状に沿った構造化やマニュアル化が必要に感じています。日々たくさんいただく仕事の依頼に応えるためにも、皆で議論し、働く環境を整える準備をしていきます。
- ・現在、工賃規定の見直しをはじめており、来年度は工賃アップを予定しています。いよいよ内勤においても、毎月の支払工賃が3万を超えることができそうです。メンバーの意見や実態をたくさん盛り込んだ、工賃規定をつくっていきたいと思います。
- ・方針に沿っての具体的な取り組みの継続や見直し、現状から考え必要な新事業の創設など、将来構想も視野に入れた計画について議論しています。具体的には「就労定着支援」や特色ある「就労移行支援のあり方」「自立訓練」などを検討し、あわせてメンバーやご家族の高齢化等も含めた、今後の展開に向けた議論をおこないたいと思います。